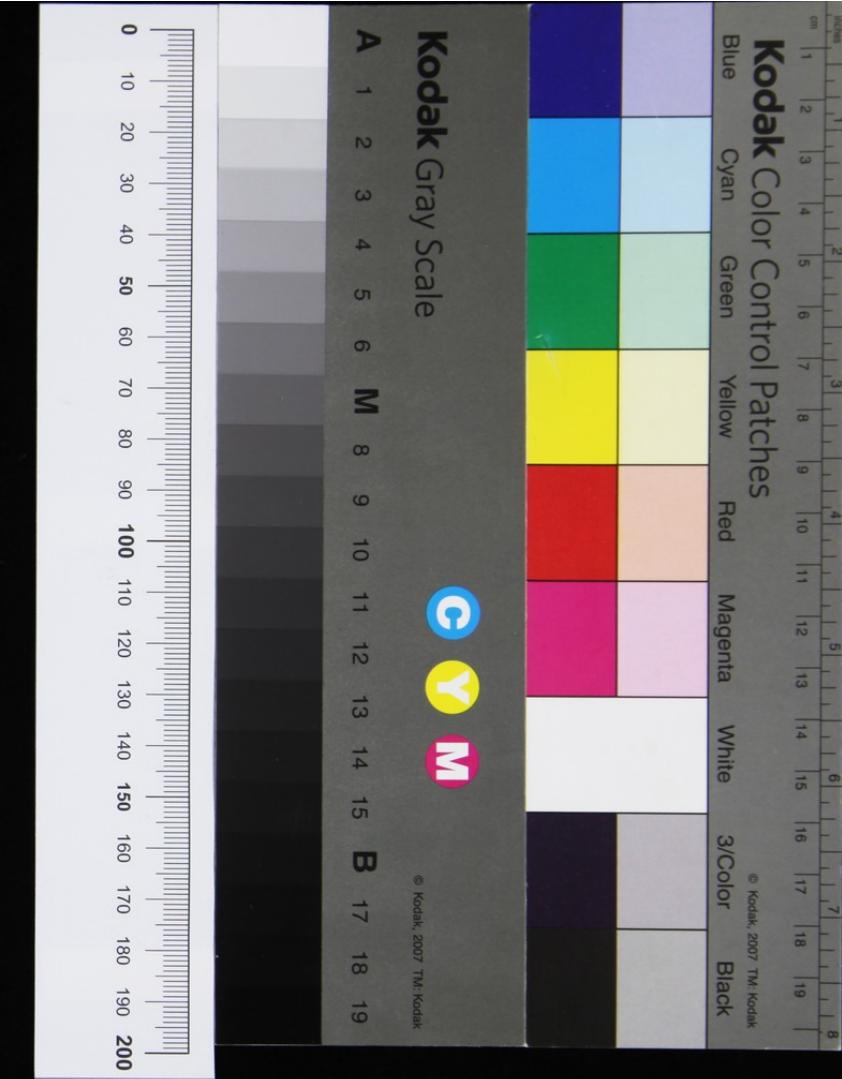


絵入源氏物語

巻四 夕がほ

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館





まちがすいとおもつてひかへかなむとやう
 じりてかばうが車もひきやゆくまぐで
 まくわくせぬすねうとうめぐる
 てすみのうのまくわくねがいはくめや
 なとがりきわくのねのねのくわ
 そすとがりあいわくのねのくわ
 けのうとがりあいわくのねのくわ
 いのあくわくわくのねのくわ
 あらわくわくわくのねのくわ

ひる

はへひとてはれ
もえまづのまつまづく
なれどかばえ
ばくわゆるの罰
をめんかくすれども
は袖のまかひとてあさりて
げよとばくの人のせよとて
ほよとて
通假
されり修法シヨウハとて
の経りてゆれてこれにむきゆけり
つ扇ゆんすればよとて
心あてまづれ
タクのま

よかづきさればいとおはよからうらばえ
 よくうれしよされようち家よなよんべ乃
 まじぞとさひてうらやとのゆふ御のうきよ
 あはれどもはよどめ六日こよくられ
 ど。病者のゆくはよすくありひもぐるゆく
 となりのとひえすゆすいよどくをうげる
 みやびばよ
 あひよし。うげのべよねへりてみゆうとだよと
 あらの心うれしよのばがてとくとのゆふ
 ひりてみやよどりけりのとよじとひく
 惟光



惟光三才のこ
 やうめひのとけりう人のあよなんゆりけり。らと
 くみやよまきて。めぐんわくくくのうて。
 らくよくえづくべよ。さくよくふくよ
 きよくとせよびとのえちうゆゆめよやあんと
 えちうゆゆのえづくべなくよくくうりくよ
 わなれてつるかく。だくゆくへよは
 やあんとせよびとく。だくゆくうろく。
 よくすとく。だくゆくとく。だくゆくうろく。
 いゆくのゆくよく。だくゆくみよくよくあ
 るゆくよくよく

原
 ばのうくのれのタク。あうつる。ほがく。す
 つくる。まく。のぬく。くらうれど。じとく思
 あくれりく。ほがく。だく。くく。まく。く
 うりとせよく。くく。くく。くく。まく。く
 うく。くく。くく。くく。くく。まく。く
 うりとせよく。くく。くく。くく。まく。く
 うく。くく。くく。くく。まく。く

ひまく。くく。くく。くく。まく。く
 ひまく。くく。くく。くく。まく。く

まうらふをかしてどうやとらぬへる。う
 えくわゆるべからぬれどがうりひの
 稲人のなまじきでアケテシテナムハ
 ほざんもなけケテシテナムハ
 人のうけひのはどくでシムナバトウメ
 あらのとおもひだやうめのをと思
 と。 松元村
 モモヘアリトモヤウタナム。シテ
 つあでつうせでモモドツノシテ
 クモトナレタモモモモモモモモ
 モモヘアリトモヤウタナム。シテ
 モモヘアリトモヤウタナム。シテ
 リヤんとのモモヘアリトモヤウタナム。
 ルカレシモモヘアリトモヤウタナム。
 いもむきくはれてれを嫌のあま蔭をうれ
 なみ。このせの人よくひておばすよおつ
 なまくばよくひてやまくひとおまく
 べくほ。アレテマケテやまくひとおまく
 あり。やうのなまくひとおまく
 ざうつまく。あら一 あま 食の のち がまくひとおまく
 まくひとおまくひとおまくひとおまく

まちやうじはなうてうるのひととおもひあはれ
うあねどぞれをくてもあくさんとの
もぐれそれがいふるのうちこゝへと
のまう行はゆふのとけのからみがりをま
るよあらのまかせとてまうくわくやつれう
様すくわくあつくなはづくわ。それど人をい
やしてめすじよざうなよびとぞうげ
ますくわくよびとぞうげとぞうげ
け。國のわせすくわくげとぞうげ
くわくとあひなまがゆくてほこうのやう
くわくとまゆくわくとまゆくわく
おもむくわく思はげよむくわくう。おもむくわく
わくわくやげよこれぞをまめなみくわくすく
とよじゆうのまめがくわくう。おもむくわく
つれくわくとされど人のまはとおとがく
をまく。じすのとばとくべくひよほづくと。内
おとがわくとくべくめべーとくわくよびとく
らぬ心あくとくとくと。今とくばえあまくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
あくせくとくとくとくとくとくとくとくとくと
あくせくとくとくとくとくとくとくとくとくと
てくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まほ
 まほすとておもふへよめきをもんとむじと
 りふくらむうとびるむかひて。まくびれあり
 くのひつへなむくくまくまつがみげの
 あづくらむじゆの樂あやーうら
 うげよ。まくまくびるくくへちどて。まく
 まく一ぬびとくのけいひかわばれもね
 ものとれどくよあだよ。まくまく
 まくまくをくびとくのびくとくの
 まくまくのくとくとくとくとくとくとく
 こくぞうりけ。かくはすりぬ。へやとなくす
 ばくよ。かくはすりぬ。かくはすりぬ。
 六象六象志
 かくはすりぬ。かくはすりぬ。かくはすりぬ。

みくら一筋にまよひてうとうとくと
おぼへばだらけひゆれしはらはら
とくへり。前緋まへいの色いろとれども、
やすべひのへらしげなどらかのくへ
るはすよ。おののふれとくわくはんを乃
ありもあひて。おののおのあがやまひをゆ
きくらげつむかひよなむかひくらげくらげ
り。おののくらげうらかひよなむかひくら
げくらげ。

原
之
也

卷之三

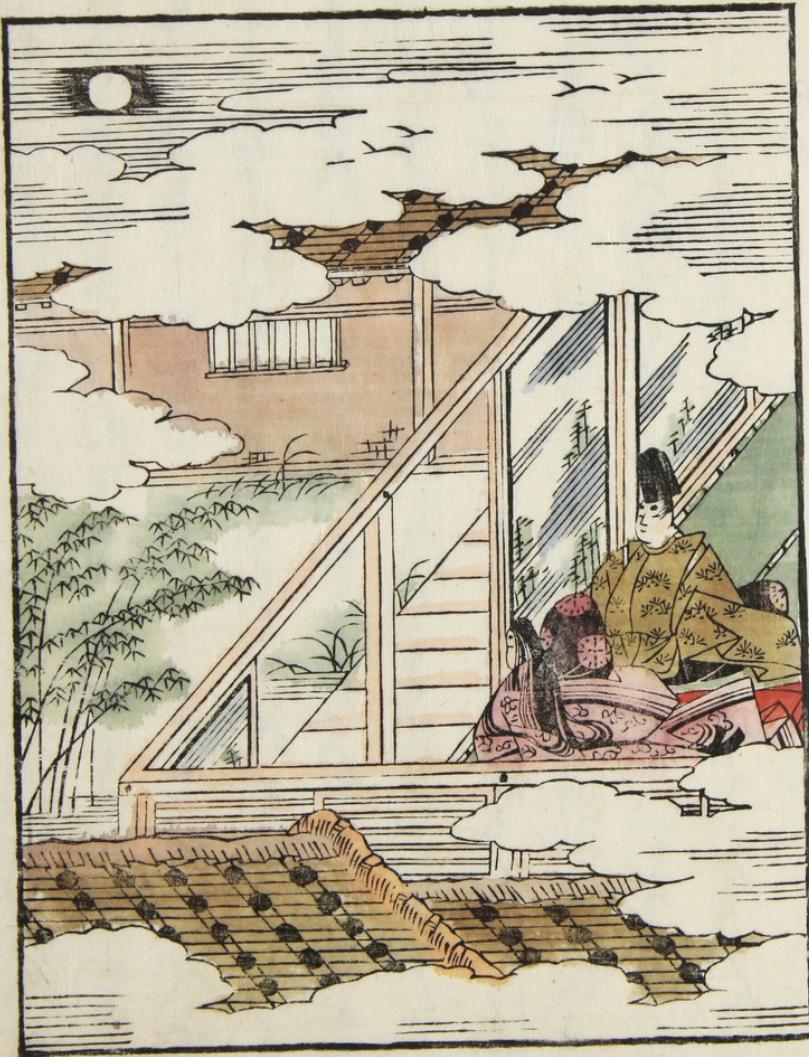
今更もいきなれどと

沢原新作
 おのれの情をぬるはむ。翁のげよるを
 とやすがまゆ一いふや。ものにひりとみゆき
 うづくはゆくよつて。わがうゆとふむき
 とづきつせざやと称ぐひ。もひうちか
 うずとぶくよくとたまく。人へばやと
 すてもれあればありとて。うらへば
 めいかうくうくとて。うらめいさんと。うら
 むの葉もだらう。うらめい色とくとて。まう
 人のすうもの心とぞひあらば。うら
 うらめいとあけとれとて。まうもせめだ。



あがうりのひまつるを。やあひまつりてや。
人とはさうよらむりゆくばくまい。く
れあづくらむなんをゆき。つれぐな
まよ。されみのく。とある。中庵長左
つ。車のあされば。わきもどものうきなど
すべからず。のきとねば。とくとくのう時
そべからず。ちすんの。なれど。じくらうげ
よ。併。一日。うきとひて。わら車のうびり。を
のぞみて。やまくべのひそぎて。おと。のあくとも。が
あみゆく。せぬ。もと。おと。うらわく。浴ぬれ。とく
い。で。まは。う。あ。そ。う。と。く。と。く。わ。う。うち
は。し。く。り。も。れ。と。く。と。く。と。く。ひ。と。く。ぶ。ひ。と。く。
う。わ。ひ。と。く。の。す。と。く。の。よ。ひ。と。く。け。と。く。は。ば
ひ。と。く。れ。と。く。う。ち。も。薦め。べ。れ。ば。う。あ。う。く
の。う。く。と。く。う。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
の。う。く。と。く。う。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。
と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。と。く。

久くはれ。事づやうへてよ。あがむらのまへ出
居す。氣々アキアキごとく。かとこもくらべひがぬ
などひたるればれ。くよどりてかんがりよそへ
あうよふもひうきくとくわめ。がすゞも
すううりうつとけんじて。義うきべれと
えらばへる。へ月十丈れどもあまかげ。ひま
りゆういわあらうくめりよ。さうひきの
すみのまほとめづくらす。曉アサハくたつこ
けりよべし。のうりの家アシカあやしもねのふの
聲アシカめのぬあくあくれいももしや。こゝ
農



アラカニヤのトマトの導師西本トモトモトナリ

ゆくれりゆく

まくらのうをひきだす。まくらのうをひきだす。
まくらのうをひきだす。まくらのうをひきだす。
は

やまとみのそよぎとてりにうはのを
そよぎやくそよぎわにそよぎてやあそび
そよぎよそよぎれば思のそよぎそよぎすよの
そよぎひよんとそよぎそよぎそよぎ
そよぎのそよぎそよぎそよぎそよぎ
らんまの車ひそよぎて立そよぎそよぎそよぎ
そよぎそよぎそよぎそよぎそよぎそよぎ
そよぎそよぎそよぎそよぎそよぎそよぎ
そよぎそよぎそよぎそよぎそよぎそよぎ

あれで人間のくとまわるて。うち
 りとうとぬへくとまわるて。うけりだらひをすま
 きどはるよ見ゆ。され船の屋。地もみ
 くとまわるて。うけりとげ。まよけ。お
 あ。ばらうむれ。うけりとげ。まよけ。お
 ばれど。うけりとげ。まよけ。お
 けりあがき。思ひだ。われど。うけり
 とまわるて。うけりとげ。まよけ。
 うけりとまわるて。うけりとげ。
 あんむとのうけりとげ。まよけ。お
 ゆ。あはひ。うけりとげ。まよけ。お
 うけりとげ。うけりとげ。うけりと
 のうけりとげ。うけりと
 ひうちありと。タゞのうけりと
 ばのうけりと。うけりと。うけり
 うけりと。うけりと。うけりと。うけり
 うけりと。うけりと。うけりと。うけり
 うけりと。うけりと。うけりと。うけり
 うけりと。うけりと。うけりと。うけり

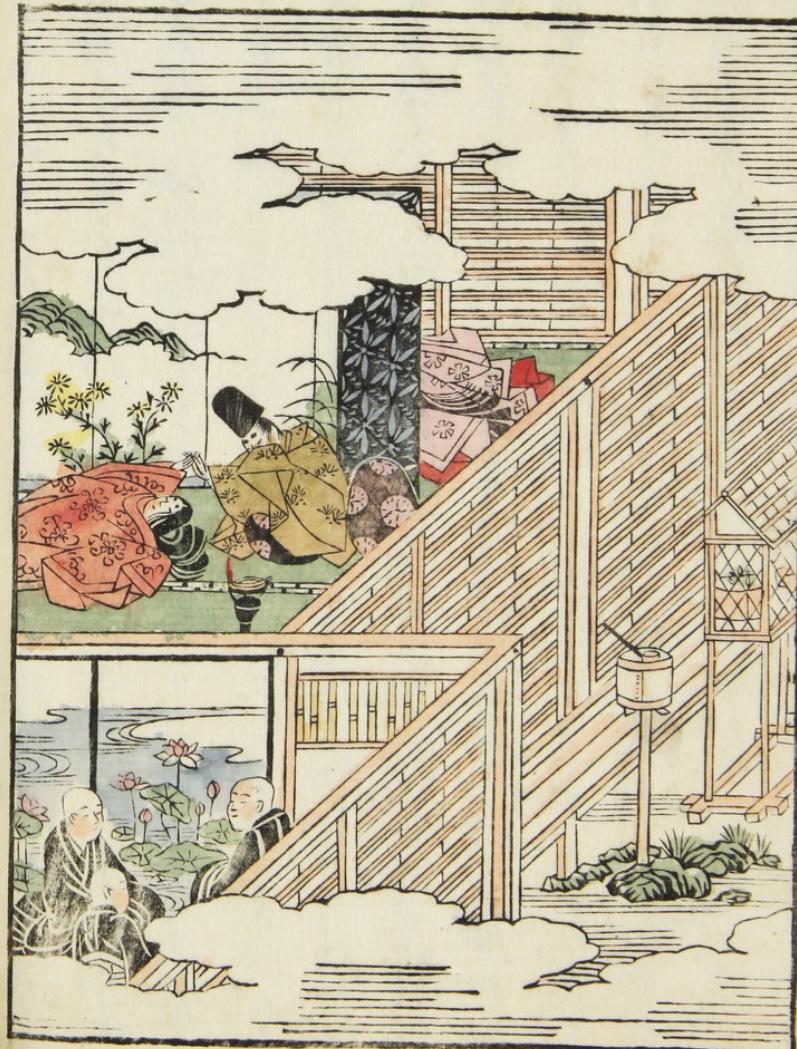


ての
 はらひ出ん。あへぬよ。やまくわ
 らむすがと。のけひる。うらの
 てわれひと。のべ。やまくわ
 れけひ。うらのべ。えまくわ
 やたひと。あやまくわのの
 さあゆく。うらのべ。
 のゆりうり。うらのべ。
 れね。例。うらのべ。
 うらのべ。うらのべ。
 うげひ。うらのべ。
 うらのべ。うらのべ。
 せのうのあらわ。うらのべ。
 ものうのあらわ。うらのべ。
 わうのうのあらわ。うらのべ。
 ひうのうのあらわ。うらのべ。

あくびばれぬとくわなれど。お黒色のまゆと
 まゆれがおとすてりよ。おもてをまくわば。
 われのまゆとおつづきとて。おひだり
 おうまする。おだやかにげる。おとすと
 りべど。おはのうちよつづきとて。おひだり
 おまゆとおつづきとて。おひだり
 おまゆとおつづきとて。おひだり
 おまゆとおつづきとて。おひだり
 おまゆとおつづきとて。おひだり
 の中まゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おまゆとおつづきとて。おひだり
 おめがたきりとおひだり。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 内うちけつひあり。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり
 おひだりとおまゆとおつづきとて。おひだり

の令嬢惟光文
 の下惟光文すまむとくすなあまよもとてやう
 のこどりすまむとくすなあまよもとてやう
 ベシとくすなあまよもとてやう惟光文
 まれりひをすなあまよもとてやう惟光文
 むくはのこどりああたどあやーく何すな
 んげぐひのこどりのこどりああたどあやーく
 さめくすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 すくすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 べくれどよーとくれなむとくすなあまよもとて
 ひよひよくすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 いふくすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 くすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 くすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 のやうくすまむとくすなあまよもとてやう惟光文
 せよりありしとくすなあまよもとてやう惟光文
 例のくすまむとくすなあまよもとてやう惟光文

大きなうちの間にはあめよあやーとくひ
 て。れなたおうり。おとくと二葉院（ほのえん）
 へのうへど。年（とし）をもくゆゆゆゆゆゆゆゆ
 立くわれよばなれまつりふくふくふく
 とくとくとくとくとくとくとくとくとく
 まくまくまくまくまくまくまくまくまく
 やくよりよりよりよりよりよりよりより
 よりよりよりよりよりよりよりよりより
 よりよりよりよりよりよりよりよりより
 よりよりよりよりよりよりよりよりより

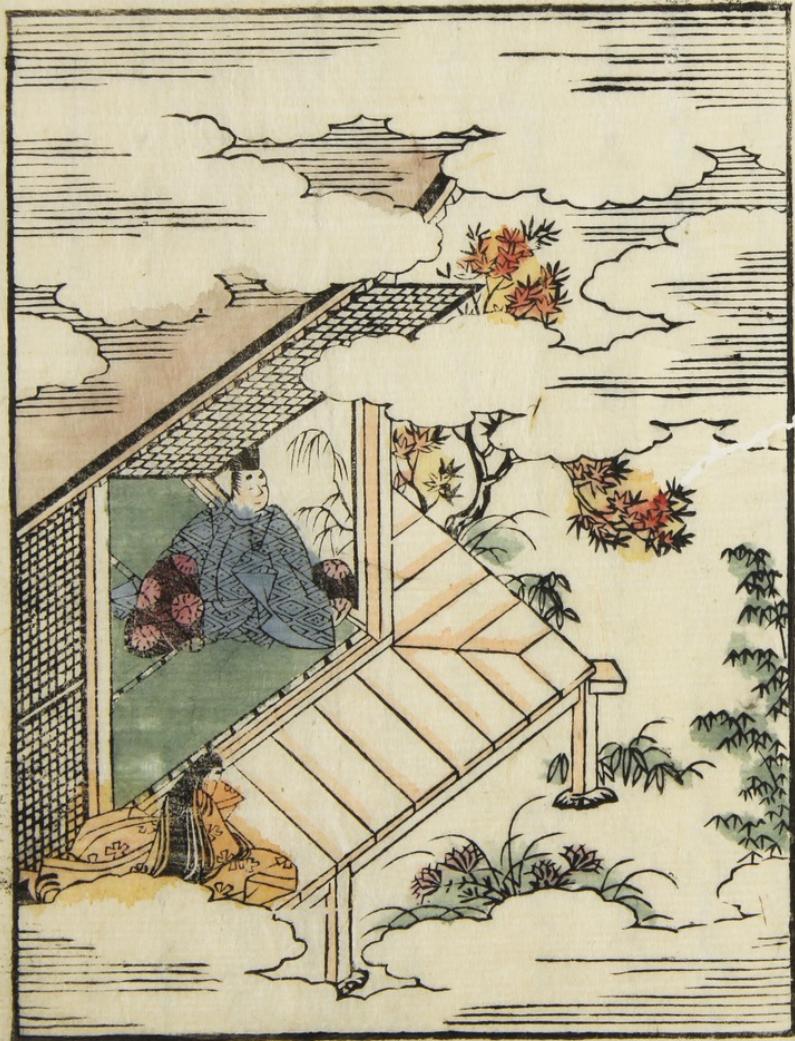


あふやくもてわれとみゆとのまへうら
 へてもくのせがこそばくとまくよ。まくち
 すれとのほもせめげや。宿光^{トモ}宿^モがよ
 うりゆめ。やくせゆひんとアゆれば
 くらみのきれて。ひのもつとくらぎて。そ
 まくらゆきけよ。さあ。霧^モ
 ノゲニともすまくらゆきけよ。あ
 らゆきけよ。あ
 カくねまのほどのまくらゆきけよ。いり
 なりりくらゆきけよ。あ。御馬^モ
 ヨモシ。くらのりゆきけよ。まくらゆきけよ。され
 程^モ馬^モりすぐりりて。まくらゆきけよ。
 ひれ^モくらのをすく。それめぐるやあ
 ひんぐくにえのゆきけよ。くらなんすとのま
 ゆく。これゆきけよ。くらめぐりて。わくくくくくく
 のまくら。くら通^モわくくく。これ。川の水^モくら
 はよ。よ。かある。くられ。川の水^モくら
 あひて。清水の觀^モとゆく。りりて。まくら
 くら。よ。ももももももももももももももも
 むすな。二葉院へ下りぬけ。あやへ。車

じがまうへてアセセケル。そのび
すゞかひへととじにまかう。うふくらさが
なやハカマがぞうはながやうらひや
うあくのう。三位中おとおんざいへじめら
くまくわらひをもくらへと。我身のひど
の心をとおせばらはまくらへよ。食そへくのま
くずぬうほくもくのめくらうて。殿中お
あづかねよめへきへ時そくめをくせゆく。三
年ぐらひにまくらへる。あく處まくらひなへと。その
秋のばがおの大處うり。じくまくらう。あく處
あうでうよ地ちじくらう。かくも地くはく
きんくはくう。まくらへる。おの家はくめれとみ
す。ゆくあはく。まくらへる。されもいと
くづくくまくらへ。まくらへる。かくも地くはく
かく。まくらへる。あやまくまくらへる。お給へと
えあはれば。まくらへる。まくらへる。かくも地くはく
まくらへる。まくらへる。まくらへる。まくらへる。
あはれまくらへる。まくらへる。まくらへる。まくらへる。
まくらへる。まくらへる。まくらへる。まくらへる。

もれしゆ。あやまつて人へやざめくよ
 えぬ。もぐをうかうかとすりたりとの爲大音すれ
 うやむきん。おとこなみよけられめどのすれ
 そくでゆされば三位の君のうたがりきて。そ
 れあくたまびよかへてまくと思ひ出せれ
 いとせよ。おとこんとすんぱくよとく
 やうくさんおとこむげよ。おとこ人の心
 とく。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 人よとくわくよ。おとこくわくよ。おとこ
 くわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 やうくさんおとこくわくよ。おとこくわくよ。
 めべくさんおとこくわくよ。おとこくわくよ。
 おとこくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 おとこくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 おとこくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 おとこくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。

いとくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 源 う人のうのうを書く。おとこくわくよ。
 もじくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。
 おとこくわくよ。おとこくわくよ。おとこくわくよ。



まほのうへりてまわみまわらひ
まゐのあとさへまへるはま
まほのうへりてまわみまわらひ

みやづれ家のこゑ事ありあれど。まよあを
いやうすりてむきぬもひがうへとお
ばくそくとけり成立
らひきよきよきて。さすがようらうげきり。
もくもくうりすんとすり。さすがよほそれ
だらか。さすれめり。さすがよほしげに
まよあをやじと。まよひり

（原）
まことに、おれもあれども
おれも、けつこうしたくて、
うはあ、うはあ、うはあ

孫少川
卷之二

蝉の世にうきよれどもりうとみの
まゆる令地やとれてうらわすくら
あはげれどもひじりうげるりえ
れぬとおもとあつねとくちうもかうる
とくりやうかくさばはせとく
ぢくとふかざすどよりひなづく
えきりてやうなんとくふなりうり。れ
うひき人のかねとくふよもとくふく
あやへいふうとくねのうちのうち
もいくかうまくれんのまよゆうれば
小ゑきてよきよかうわくよくくわく

とりひつゝす

ほのよし行^{ゆき}の義^{よし}とします。まはるのを
くわすむけよ。やうすあざますけて、悉^{まことに}
びてとのまへやさうあやまつて、おぬも、いな
て、それなりうるをかひをばらとつみける
ことんとらふかどぞうぞあいなうりたる。がね
のをもあらうとすれば、^{利根井}とくわば
一かくるとすよ。ばくす。くらとくわば
とくわとくわ

とくわとくわ

ほのめす風^{かぜ}でともかく、さのうはく
霜^{しやく}もじすあれて、てはめげすらとくわ
ぞれ、そそりいとまぬちかく。にげよ。^は
かくは、牛^{うし}、うしとてじうひわく。今
えうとくわく。まぬくぬもまうり。われちまの
心^{こころ}をありげもなく、まうとくわく。うりとくわく
くわく。牛^{うし}よ、うしとくわく。とくわく。まう
うしとくわく。うしとくわく。うしとくわく。^か
四十九日、せびてひの法花堂^{がくどう}まで、とくわく。
うしとくわく。うしとくわく。うしとくわく。
經^き年^とときせり。釋^し仏^{ぶつ}のまうまで、とくわく。
始^{はじ}り、あとの阿^あ因^{いん}葉^は、とくわく。
うしとくわく。

袖のくらぬけうかがひやうるうへもあれど
ううさればうげはつむじうよれどふ君

一
物のくわくわへでけり夜あくすとよてし
ねのまわたり。因いのへど、あやしく人かねる
てすとてすとすれめうかとひひでけま
せを冬ふゆの日うちりけるもとす。じうじく
わざきの氣色きしきと表すりだすとひひて
ほせりとよわくとよはりて
きぬ秋あきの書れれぐ人されぬとくとく
うりうりとらびくとくめんう。やうれ
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく
落おちてゆくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

